

農林大学校だより

sinrei 榛 黎

第77号

令和7年3月21日
発行

群馬県立農林大学校

〒370-3105 群馬県高崎市箕郷町西明屋1005
TEL: 027-371-3244 FAX: 027-371-6968
<http://www.pref.gunma.jp/site/nourindai/>

一丸となって
一生懸命やりきった
2年間

令和6年度 関東ブロック農業大学校等
プロジェクト発表会・意見発表会



令和6年度関東ブロック農業大学校等プロジェクト
発表会・意見発表会 (令和7年1月16、17日群馬県開催)



「袖触れ合うも
他生の縁」
この縁を大切に!

校長
倉本 高帆



2年生の皆さん、社会人コースの皆さん卒業おめでとうございます。そして、ぐんま農業実践学校の野菜専門技術コースを修了した皆さん、修了おめでとうございます。今日の日を迎えられた皆さんの胸中には、学校生活のさまざまな場面が、それぞれの思いをもって蘇っていることと思います。

初めての寮生活、猛暑の日も凍てつくような寒い日も頑張った実習、辛かったけど達成感が得られた榛名登山、大きな声援を受けた四県スポーツ大会、みんなで盛り上がった榛の木祭、粘り強く取り組んだ課題研究とその発表会。そして、不安な気持ちを持ちつつ、真剣に自分自身と向き合った進路……まだまだ、実に多くのことを経験しました。

そこには、さまざまな出会い、人間関係があったことでしょう。こうした農林大学校での貴重な2年間の思い出と、寝食を共にした仲間を生涯の宝物として、これからの人生を切り開いて行って欲しいと思います。

私は、「袖触れ合うも他生の縁」という言葉が好きです。江戸時代初期、徳川家康以降、将軍家三代にわたり兵法の指南役として仕えた、柳生宗矩の言葉とされています。偶然、側（そば）にいる人と服の袖が触れ合った……ただそれだけのことであったとしても、それはその人と、生まれる前つまり前世から、何かの「ご縁」があって、この現生で袖が触れ合ったのであり、この「ご縁」を大切に活かしていこうという生き方を意味しています。

現在、地球上に約82億の人が暮らす中、同じ時代に、同じ国、同じ群馬県の農林大学校で出会った仲間、先生。決して「偶然」ではなく、深い「ご縁」で結ばれていると思っています。今の時代、SNS上で簡単に人と人とが繋がり、交流できるようになりましたが、「人」と「人」の「間」で生きて「人間」です。本校で出会った「ご縁」、どうか大切に活かしていってください。

さあ、皆さん、いよいよ出発の時です。自らを信じ、胸を張り、正々堂々と、正面突破で進んでいってください。我々、教職員一同、皆さんのご活躍を心から応援しています。

社会へ羽ばたく 皆さんへ

後援会 会長
野尻 誠



卒業生の皆さま、ご卒業誠におめでとうございます。

2年前、この農林大学校に入校した皆さまは、まだ初々しく、寮に入る不安や日々の農業実習、初めて会う同級生との生活や学習、様々な不安や楽しみを胸に入校式に出席していましたね。私たち保護者は、皆さんの様子を温かい目で見守った事を昨日のように思い出します。

あれから2年、皆さんの顔つきを見ると自信にあふれ、体つきも一回り大きく、逞しくなったように見えます。きっと社会に出る準備が整ったということなのでしょう。ここで過ごした2年間でとても充実した質の良い学びの場となり、友人となった同級生たちが、今後の財産となる事でしょう。

実は私も30年前、この農林大学校を卒業しまして、その時過ごした体験が、今、農業を行う上でとても生きていて、様々な場で応用させていただいています。

また、在校中に知り合った同級生たちは、今もなお交流があり、農業で躓きや不安な事がある時には、同級生たちを先生として色々な事を相談し、互いに切磋琢磨しながら友人として付き合っています。皆さんも是非、社会人になってからも友人を大切に、互いに支え合えるような関係を築いていってください。

最後となりますが、学校で携わりました校長先生をはじめ教員の皆さま、寮生活で日々お世話になった舎監さんや調理師の皆さん、私どもの子供たちの面倒をみてくださり、ありがとうございました。保護者を代表しまして御礼申し上げます。

今後の皆さまのご活躍と農林大学校の益々の発展をご祈念申し上げまして、挨拶とさせていただきます。

保護者からの一言

盟友たちへ



新井 克彦

卒業生の皆さん、2年間の学校及び寮生活は、いかがでしたか？私自身も農林大学校の卒業生で、仲間と過ごした2年間はとても充実しており、人生において掛け替えのないとても大切な時間となりました。皆さんの心にも、きっと大切な思い出が残ったことと思います。

この春から、皆さんは社会人の仲間入りをするようになりますが、良いことばかりではありません。理想と現実の違いに苦しむこともあると思います。しかし、農業を営む者として君たちに感謝しています。IT社会のこの世の中で、他の選択肢がたくさんあるにもかかわらず「農業」という職業に興味を持ち、学んでくれて本当にありがとうございます。

農業は、人間が生きて行く上で一番大切な職業だと思っています。人は食べ物なくては生きて行けません。それなのに何故か農業は敬遠されがちです。農林大学校では、そんな農業のメリット、デメリットが学べたのではないのでしょうか。卒業して、農業に関わる職業に就く人、他の職業に就く人、それぞれだと思いますが、今後の人生で農業に関心を持ち続けてくれると嬉しいです。

最後になりますが、教職員皆様方の熱心な御指導に感謝し、農林大学校の益々の御発展と卒業生皆様方の今後の活躍に期待し、陰ながら応援させていただきます。

ご卒業、おめでとうございます。

未来を拓く



松下 好

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

最近「若者の離職率が高い」というニュースを目にしました。皆さんが今後働く農林業は、一般的に仕事がつきつと言われています。現代社会では、実際の仕事と自分の理想との間にミスマッチが生じ、そのギャップに悩むことも少なくありません。中には、就職してすぐに離職してしまう人もいます。これは、職場ごとに「普通」が異なるからだと思います。

おかれた環境や状況によって、同じ仕事でも求められる基準や期待は変わります。仕事には辛い時期もありますが、その中でも「努力は裏切らない」と信じて進むことが大切です。また、仕事や趣味を通じて、自分が楽しめることを見つけることも重要です。どんな環境でも、まずは自分自身をしっかり認識し、柔軟に適応していくことで、より充実した生活を送ってください。

今後の皆さんのご活躍を心から応援しています。どんな場所でも自分らしく輝いてください。

卒業おめでとう



野菜コース



花き・果樹コース



酪農肉牛コース



農と食のビジネスコース



森林コース



社会人コース

学校生活の思い出

野菜コース2年
井上 芽維

農林大学校で過ごした2年間はとても充実していました。様々な学校行事や入校前は不安だらけだった寮生活も今となってはかけがえのない大切な思い出です。

中でも一番心に残っている事は課題研究です。膨大なデータをまとめグラフを作り、初めての事ばかりで上手くいかないことも多くありました。夜遅くまで一緒に残ってサポートをしてくれた先生、より良い発表が出来るようにアドバイスをしてくれた先生方、近くで応援してくれた仲間たちがいたから関東大会で優良賞を取る事が出来たと思います。一生懸命課題研究に取り組めたのも、農林大学校の恵まれた環境があったからです。また、課題研究以外にも日々の実習で、より専門的な農業の知識やコミュニケーションを取りながら作業をする大切さを学ぶ事が出来ました。2年間という短い間でしたが、とても充実した学校生活を送る事が出来ました。

農林大学校で学んだ知識や経験を卒業しても忘れずに頑張っていきたいと思っています。

花き・果樹コース2年
渡邊 千紘

私の実家は非農家であり、最初は不安な気持ちでいっぱいでしたが、今思い返すと農林大での2年間は楽しい思い出でいっぱいです。

寮生活では、毎日のように仲の良い友人の部屋に行き、ゲームをしたり、お菓子を食べたりしていました。また、他の友人や先輩とも関わりを持つことができ、一日一日がとても楽しかったです。

コースでは、毎日賑やかな同級生や果樹専攻の後輩たちとともに、全力で実習や課題研究に取り組みました。実習中に危ない思いをさせてしまったこともありましたが、いつも全力で応援してくれたお母さんの存在の岡崎先生と、優しく声をかけてくれるお父さんの存在の相澤先生には感謝の思いでいっぱいです。

また、辛い時には、農と食のビジネスコースの井上先生と島尻先生にも相談に乗っていただき、お二人の助けもあり、無事卒業を迎えることができました。

私の2年間は、様々な人との出会いがあり、一日一日が宝物です。この思い出は一生忘れません!私と関わってくださった皆様に感謝の思いでいっぱいです。



酪農肉牛コース2年
伊藤 竣大

私は、農林大学校に入校して、酪農や畜産に関する知識・技術を本格的に学ぶことができました。高校から農業について学んでいましたが、部活中心の日々を過ごし、農業には本気で取り組んでいませんでした。このため、農業を本格的に学べる農林大の授業についていけるかととても不安でした。

しかし、授業や実習で牛について、先生や先輩方そして友人に色々教えてもらう中で、少しずつ知識や技術を身につけることが出来ました。

農林大の生活で印象に残っていることは、寮生活です。1年生の頃は全寮制で、高校からの友人もいれば初めて会う人もいて、話かけることが出来るか心配でした。でも、勇気を出して話してみると、自分の友人の知り合いなど初めて会った気がしない感じで、コースの壁を越えて入校してから1週間で冗談を言い合えるほど仲良くなりました。初めて家族よりも長く友人と過ごしたことは、貴重な体験で一番の思い出です。

今後は、さらに知識を深め、畜産に貢献していけるように努力をしていきます。



社会人コース
塚本 美緒

農林大学校では、栽培技術はもちろん、経営や法律、農業機械まで幅広く学ぶことができました。先輩農家さんから貴重な話を聞く機会も多く、とても恵まれた環境です。同じ道を志すクラスメイトと共に学ぶことができたことは、大変励みになり、よい仲間となっています。大学校に入校して、自分のやりたいことや将来のプランをじっくり考えるとても貴重な時間となりました。

卒業後も、学ぶことはまだまだたくさんあり大変なこともあります。大学校での体験や出会いなどの土台があれば、迷うことなく自信をもってがんばれると思っています。

大人になってもまだまだ学びがあり、学ぶ姿勢があれば必ず実ることがわかりました。そんな1年にお世話になった先生方、クラスメイトに感謝しています。卒業後も妥協せず学び続け、立派な農家になれるように日々精進していきたいと思っています。本当にありがとうございました。



農と食のビジネス
コース2年
石坂 漣

私は、農林大学校で多くのことを学ぶことができました。農林大学校に入校して初めの頃は、新しい環境の中、農業についての授業や実習について行けるのかとても不安な気持ちでした。しかし、他コースの友達、同じコースの仲間たちと協力したことで、農業を毎日楽しく勉強することができ、知識を身に付けながらも充実した学校生活を送ることができました。また、寮生活では他コースの友達との関わりもあり、放課後みんなと一緒に掛けたり、将来について語り合ったり楽しい寮生活を毎日過ごせました。また、寮ならではの掃除、洗濯、料理など生活をしていく上で必要なスキルをアップすることができ、自立と協調性を育むことができました。授業や寮生活では、それぞれ楽しかったことや、時には大変だったこともありました。しかし、学校の仲間や先生方の支えもあり、最後まで充実した生活を送ることができました。2年間という短い間でしたが、楽しい時間と貴重な体験をありがとうございました。



森林コース2年
星野 琥太郎

私は、この2年間で様々な専門的知識と技術を学ぶと共に、かけがえのない思い出を作ることが出来ました。より深い林業の授業、実践的な実習、県内各地にある林業事業体の見学や、一泊二日での校外学習など、森林コースの個性豊かなクラスメイト達と共に過ごしたこの時間はとても有意義なものでした。

そして、2年生で取り組む課題研究は一生忘れることが出来ない思い出です。私の課題研究は、炭窯を修復して竹炭を製作するものでしたが、このテーマに苦労しました。暑い夏に徹夜して調査し、調査が終わればコスト計算、そして何度も直しを貰った卒業論文。しかし、クラスメイトや先生からのアドバイスを聞き、この苦労を乗り越えることが出来ました。

振り返ってみると、この2年間は楽しかったことや辛いことなどがあり、とても充実した日々でした。最後に、この2年間でともに過ごしたクラスメイトと先生方に感謝を伝えたいです。本当にありがとうございました。

在校生からのメッセージ



お世話になった先輩方へ
野菜コース1年 平井 斗騎也

2年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。実習や当番、学校行事、寮生活など様々な場面で先輩方には大変お世話になりました。実習では、初めて行う作業がほとんどで戸惑っている私たちに対し、先輩方は収穫や調製など、一から丁寧に作業を教えてくださいました。また、寮生活では知らない人が多く不安がある中話しかけてもらい、嬉しかったのを覚えています。

先輩方との1番の思い出は榛の木祭です。榛の木祭では、ポップコーン、パンケーキ、フルーツを模擬店で販売しました。先輩方と協力し、楽しい榛の木祭になりました。

私たちも先輩方の様に楽しく、質の高い農作業をし、新1年生に頼られるように、これからも努力していきたいと思ひます。

卒業後は就農して今後の農業を担っていく方、就職して社会人になる方など、先輩方の進む道は違うと思いますが、これからも頑張ってください。応援しています。1年間ありがとうございました。



今まで本当にありがとうございました
花き・果樹コース1年 木曾 仁菜

2年生の皆さん、この度はご卒業おめでとうございます。先輩方には、普段の実習をはじめ、経営当番や学校行事など様々な場面で世話になりました。

花き専攻の先輩方とは、榛の木祭前日に模擬店用のチョコバナナを作ったことが強く印象に残っています。大変でしたが、とてもよい思い出になりました。

果樹専攻の先輩方とは、特に専攻分け前の実習でお話しする機会がありました。たくさん話しかけてくれる明るくて頼もしい先輩方。果樹の実習で分からないことがある時は、優しく丁寧に教えてくださいました。

私たちも先輩方のように、後輩に優しく、頼もしいと思ってもらえるようになります。そのために、これからもこの群馬県立農林大学でたくさんのことを学んでいきたいと思ひます。先輩方が卒業してしまうのは寂しいですが、卒業後も頑張ってください。

最後になりますが、先輩方の益々のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。今まで本当にありがとうございました。



先輩との思い出
酪農肉牛コース1年 伊能 真哉

2年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。約1年という短い間でしたが、先輩方と実習やプライベートで関わることでとても楽しい学校生活を過ごすことができました。思い返すと去年の春、不安や緊張しかない状態で入校してきた私たちに、やさしく親切に話しかけてくれたのは先輩方でした。右も左もわからない私たちに丁寧に作業の仕方やコツを教えてくださいくださったおかげで、今では効率よく作業ができるようになりました。プライベートのほとんどを先輩方と過ごせることができ、とても楽しかったです。先輩方が卒業してしまうのはとても寂しいですが、これからは私たちも先輩方がつくり上げてきた伝統を引き継ぎ、後輩の見本となる2年生になります!!

これからは、それぞれ違う道に進み大きな壁にぶつかるかもしれません。そのときは、ここで出会った仲間や私たちが助けになります!

最後になりますが、先輩方の益々のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。1年間ありがとうございました。



今まで大変お世話になりました
農と食のビジネスコース1年 吉川 大地

2年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。先輩方には、実習や当番、学校行事など様々な場面で世話になりました。4月に入校してから1年間があっという間で、今までで1番早く感じた1年間でした。その中で、先輩方には何もわからない私たちに優しく接して教えてくれたり、困っているときに手伝ってくれたり、たまには冗談混じりに面白かったりして、本当に感謝しかありません。先輩方の頑張っている姿勢や背中を押してくれる姿は、私たちのお手本です。次は私たちが先輩になります。そして後輩ができます。先輩方から教わったことを活かして、後輩たちをリードできるように頑張ろう、頼りにされる存在になります。

これから先輩方は、それぞれの進路や就職等で新たなスタートラインに立つことになります。農林大で学んだことを最大限に活かし、これからのご活躍を心よりお祈り申し上げます。1年間本当にありがとうございました。



一年間ありがとうございました
森林コース1年 栗原 雅人

2年生の皆さん、この度はご卒業おめでとうございます。短い間でしたが、お世話になりました。先輩方と過ごした日々はとても楽しく、得ることの多い1年間でした。

入校当初はわからないことがほとんどで、出来ないことの方が多く困惑していましたが、先輩方が懇切丁寧に教えてください、不十分ではありますが少しは成長することができました。学年別で実習を行うことが多く、一緒に実習をする機会は少なかったのですが、実習中に見る先輩は行動がとても早く、真摯に授業を受けていて尊敬しました。

一番印象に残っているのが榛の木祭です。森林コースは、準備をしなくてはならないものが他のコースよりも多く大変でしたが、先輩方が主軸として動いてくださり、わからないことは聞いて、それを学び実行に移すことができました。

榛の木祭に限った話ではなくチェーンソーの使い方、目立ての仕方など書ききれないほど教えていただきました。卒業後も頑張ってください。1年間ありがとうございました。

農林大学校の一年

5月



榛名登山

野菜コース 2年 坂本 拓斗

榛名登山は、毎年5月に行われる農林大の名物イベントです。農林大から榛名湖まで約13kmの道のりを走ったり歩いたり、また、時には暑かったり寒かったり…。とても過酷で疲れるイベントですが、登り切った時の達成感はものすごく、自分がまた一歩成長できたような気持ちになります。

そんな榛名登山ですが、私にとっては農林大で最もワクワクするイベントです。新緑の季節に行われるので、山中では様々な発見がありました。街中では見られない昆虫や植物が私を出迎えてくれて、「あれは何という虫なんだろう?」とか「この植物はあの野菜に特徴が似ている!」など、とても楽しい時間を過ごすことができました。もともと自然が好きだった私にとって、周りの景色すべてが新鮮でした。

ゴールまで登り切ることも大事ですが、それだけに固執せず広い視野を持って、榛名の大自然を満喫してみたいかがですか?あなたならではの登山を楽しんで下さい。

6、10、12月



イオン販売会

農と食のビジネスコース1年 笠原 綾乃

農林大学校での体験の中で、最も印象に残っているのがイオン販売です。私はこれまで父のもとで内装業のアルバイトをしていましたが、接客の経験がありませんでした。人と関わることは好きでしたが、実際にお客様を前にすると緊張し、うまく話せませんでした。それでも、「頑張ってるね。」と笑顔で声をかけてくださる方が多く、大きな励みになりました。

また、売れ残った野菜を助けても誰も手に取らず、その野菜が私自身も初めて見るものだったため、お客様の気持ちが理解できました。そこで、どの部分を食べるのか、どのように調理するのかを調べ、一生懸命伝え、次第にお客様が興味を持ち、最終的には完売しました。先生方にも褒められ、大きな自信につながりました。

この経験を通じて、人と関わることの楽しさや、努力が成果につながる喜びを実感しました。今後も機会があれば、積極的に参加したいと考えています。

10月



四県農業大学校親善スポーツ大会

花き・果樹コース 2年 清水 遥希

私は、四県スポーツ大会に卓球の選手兼部長として出場しました。普段関わることのない1年生や他コースの仲間たちとチームを組むので、部長として上手く部をまとめられるか不安でした。しかし、私から積極的にコミュニケーションを取り、皆も私に声をかけてくれ、本番まで楽しく練習をすることができました。練習では卓球経験が少ない仲間に、私や他の経験者が積極的に声をかけアドバイスしました。

そして迎えた大会当日、全力で試合に臨みましたが、あと一歩及ばず、結果は準優勝でした。準優勝だった悔しさもありましたが、皆と一緒に試合ができたことがとても楽しかったです。試合が終わってからは他県の選手と一緒に試合や練習をして交流することもできました。優勝はできませんでしたが、一緒に優勝を目指し練習をしたこと、普段関わりの少ない仲間とこの大会を通して仲を深められたことは、私にとっての大きな財産になりました。

11月



榛の木祭

森林コース 2年 松下 心太郎

令和6年度の榛の木祭が、11月9日・10日に盛大に開催されました。新型コロナの影響を強く受けてきた私たち世代にとっては、コロナ以前の状況に戻って初めての「文化祭」となりました。1日目は、一般公開日で大変な賑わいを見せ、農林産物の販売や各コースのイベントが行われ、家族はもちろん、高校の友達や地元地域の方、農林大のOB・OGの方々が来場してくださいました。まさに、私たち世代が思い描いた「文化祭」と言った感じでした。

2日目は、学生と教職員のみで「バーベキュー」を全校で行い、普段関わりの少ない他コースの学生や教職員と交流し、学生と教職員で大いに盛り上がるのができ、最高の思い出を作ることが出来ました。

榛の木祭は、本校の最大のイベントです。来場者、学生、教職員、OB・OG等の榛の木祭に関わる全ての方々の思い出に残るイベントとなるよう、今年度の反省点等を踏まえて、来年度も在校生の実行委員を中心に頑張ってください。

12月



代表課題研究発表会

酪農肉牛コース2年 新保 奏太

12月12日に群馬県立産業技術センターにて、代表課題研究発表会が行われました。各コースから選ばれた代表学生12名が発表を行いました。課題研究発表では、2年生の各学生が、これからの農業をより一層発展させていくために、選定した課題について1年間研究した成果を堂々と発表しました。発表は、コースごとに特色があり、様々な視点からの内容で興味深く勉強になったと感じます。

また、1年生がそれぞれの農業への考えや、将来の展望について発表した意見発表では、農林業の魅力発信や持続可能な農業の取り組み方法など、これからの農業を担う私たちの在り方について考えさせられるものでした。

私は、桑の葉給与による機能性牛乳生産についての発表を行いました。先生や友人、県内の大学など、多くの方々の協力により、最優秀賞を取ることができました。将来は、この経験を活かし、地域の農業活性化の一助となれるように精進したいと思います。

職員からの贈る言葉



良い出会いがありますように

花き・果樹コース
岡崎 晴佳

ご卒業おめでとうございます。花き・果樹コースの皆さんとの思い出を振り返りながら、卒業する皆さんへのメッセージを送りたいと思います。

私は今年度の春に新規採用職員として農林大に配属になりました。不安と仕事の多さで途方に暮れていた4月に、花き・果樹コースの皆さんと出会いました。そのときに、新入生は少しでも早く学校生活になじませること、2年生は無事に卒業させることを心に決め、3月までともに歩んできました。

きつい課題を課したことや、厳しい言葉をかけたこともありましたが、学生の皆さんは一生懸命ついてきてくれたと思います。時には、私の働き方を心配してくれたり、不安がる私を勇気づけてくれたりと、気づけば、私が指導した以上に皆さんは私を支えてくれていました。

2年生が卒業を迎えた今思うことは、農林大に来て花き・果樹コースの皆さんと出会えて本当に良かったということです。4月から新天地で頑張る皆さんにも、私のような良い出会いがきっと待っていることを心から願っています。



ピンチをチャンスに

森林コース
橋爪 誠

ご卒業おめでとうございます。農林大での2年間はあっという間だったのではないのでしょうか。私は今年度から配属となったのですが、皆さんが夜遅くまで準備を頑張り、榛の木祭を大盛況に終えることができたことがとても印象に残っています。

皆さんはこれから社会に出て、様々な問題や困難に直面することがあると思います。そういった時に、直ぐに投げ出すのではなく、まずは自分の頭で考え、自身の技術で挑戦してみてください。苦労して得た知識や技術は、血肉となり、そう簡単に忘れるものではありません。困難を乗り越えた先に成長があります。困難に出会ったときはチャンスと思って取り組むことで少しは肩の力が抜けるのではないのでしょうか。

もし思い悩むことがあれば、一人で抱え込まず社会に出て出会った職場の先輩や仲間、農林大でお世話になった先生や仲間に相談してください。必ず力になってくれるはずです。農林大を卒業し、新たな道で頑張る皆さんを応援しています。

自治会役員の紹介

新型コロナウイルスの発生前の行事などを復活して、全学生が充実した農林大学校の生活となるように、自治会役員が中心となって活動をしていきます。



会長	岡崎 勇人	(花き・果樹コース)
副会長	市川 嵐士	(野菜コース)
副会長	金井 倫基	(野菜コース)
書記	塚本 華	(酪農肉牛コース)
書記	大坪 由里菜	(農と食のビジネスコース)
会計	浅見 悠乃	(森林コース)
会計	内田 貴陽	(森林コース)
総務	木檜 仁菜	(花き・果樹コース)
総務	会沢 愛果	(森林コース)

各種発表会等の出場者・受賞者の紹介

●令和6年度関東ブロック農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会

新保 奏太 酪農肉牛コース2年
(3位入賞 全国発表会出場)
井上 芽維 野菜コース2年
(優良賞受賞)
廣島 瑞己 森林コース2年
後藤 大輝 農と食のビジネスコース1年

●令和6年度全国農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会

新保 奏太 酪農肉牛コース2年
(特別賞(株)日本農業新聞賞受賞)



●令和6年度課題研究合同発表会

新保 奏太 酪農肉牛コース2年

●令和6年度関東森林局森林・林業技術等交流発表会

書上 陸斗 森林コース2年
(優秀賞受賞)



研修部

ぐんま農業実践学校

野菜専門技術コース 20代から60代までの幅広い年代の研修生20名が、実習を中心とした全70回の研修を通じて、農業経営に必要な知識と野菜の栽培技術をお互いに協力し合いながら学び、全員が修了することができました。研修で得た知識や技術、そしてここで出会えた仲間との縁を今後も大切にいただき、研修生の皆さんが本県農業の活性化に向け、各地域の担い手として活躍されることを期待しています。

有機農業コース 令和5年度に新設され、2年目を迎えた「有機農業コース」では、環境負荷を減らし、持続的な農業生産を行うための有機栽培技術について、座学と実習を通して学びました。研修生の中には、農業歴が長い方からこれから農業を始めたい方までおり、研修生同士の情報交換でも様々な学びがありました。この研修を修了した皆さんが、それぞれの地域で有機農業に取り組んでいただき、有機農業の輪が広がっていくことを期待しています。

いちごコース ぐんま農業実践学校では、今年度から「いちごコース」を新設しました。研修生は全8回の研修で主な栽培技術を学ぶとともに、いちご栽培による経営

に取り組むには、施設整備などの大きな初期投資が必要なこと、そのためには営農計画づくりなどの事前準備が重要であることなどを再認識しました。引き続き、いちご経営を希望する方の計画の実現に向けた支援に取り組む、多くのいちご生産者を誕生させたいと考えています。



令和6年度「ぐんま農業実践学校」修了者

課程・コース		修了者数(人)
野菜専門技術コース		20
有機農業コース		22
いちごコース		7
野菜基礎技術コース	春夏野菜平日コース	22
	秋冬野菜日曜コース	18
トラクター操作講座		10
農業体験講座		4

研修生の言葉



ぐんま農業実践学校
野菜専門技術コース
関野 真妃

「農業をやるなら、専門の知識や技術を知っている人に学びたい」。そう思ってぐんま農業実践学校に入学しました。いざ学んでみると知らないことばかりで、どの授業も有意義な時間でした。野菜の生産だけでなく、農業や農業機械、経営に関する面も授業で取り扱っていただき、より知識を深めることができました。

おいしい野菜を作るのはもちろんのこと、数字やデータを考慮し安定した野菜の生産ができるよう頑張りたいと思います。

農業機械研修

本校では、農作業機械に関する研修のひとつとして、農林大学校生を対象とした大型特殊免許（農耕車に限る）の取得に関する「大型トラクター基礎研修」を実施しています。研修は、校内に設置されている運転練習コースにおいて、大型トラクターの基本操作と安全な道路走行を学び、研修最終日に実施される運転免許試験に合格すると免許取得となります。また、研修カリキュラムには、トラクターにおける作業機の脱着・調整およびロータリー耕等の実践的な内容も取り入れています。

令和6年度も多くの学生が本研修を修了し、運転免許の取得とトラクター作業機の基本操作を学びました。この他に、けん引免許（農耕車に限る）を取得する「大型トラクターけん引研修」や刈払機、管理機等の農業機械の安全利用を学ぶ「農業機械安全利用研修」といった様々な研修を実施しています。学生は各研修を通じて免許や資格の取得、農作業機械の安全な取り扱いを学習しています。



令和6年度大型トラクター研修実績（農林大学校生のみ）実績

研修名	実施回数(回)	延べ受講者数(人)	延べ免許取得者数(人)
大型トラクター基礎研修	3	49	49
大型トラクターけん引研修	1	14	14